

平成30年度



花園文庫が

新しくなります

ポイント
1



じっくり読み味わう「お話」

語り継がれ、また、読み継がれてきた、いわば古典とも呼べる日本昔話と世界名作。その中から1冊1話を選定。この文化遺産のようなお話を次世代に。文と絵が絶妙に融合した世界がお子さんの心を引きつけます。笑いやハラハラドキドキ感、思いやり、知恵、勇気、教訓などが込められたお話を、たっぷりとお楽しみください。

ポイント
2



詩を味わう「詩は友達」

主に近代の名詩1編を毎号取り上げます。詩は短い文の中に作者の思いが詰まっています。声に出して読み、味わってください。

姉妹シリーズ「二葉文庫」「出会い文庫」は諺(ことわざ)、「仲良し文庫」は俳句のコーナーがあり、伝統的な日本語の文章に親しめます。

ポイント
3



保護者と子供と絵本をつなぐ「花の子通信」

お話のねらいや注目点、その他のコーナーの解説など、絵本をより楽しむためのヒントや深く知るための関連情報を巻末に掲載します。石井方式の生みの親・石井勲先生の「日本語塾」も所収。

ポイント
4



童謡を歌う「童謡の世界」

懐かしの童謡を毎号掲載します。そのイメージを童謡画で表します。メロディー譜も掲載しますので、ぜひ歌って豊かな情緒を感じてください。

《お話ラインナップ》

4月号	三匹の子豚 文：間所ひさこ 絵：秋里信子	10月号	裸の王様 文：深山さくら 絵：花之内雅吉
5月号	一寸法師 文：山本省三 絵：末崎茂樹	11月号	猿蟹合戦 文：もり・けん 絵：かすみゆう
6月号	因幡の白兔 文：矢部美智代 絵：水野ぶりん	12月号	くるみ割り人形 文：間所ひさこ 絵：北見葉胡
7月号	饅頭怖い 文：藤田富美恵 絵：福田岩緒	1月号	天福地福 文：北ふうこ 絵：倉石琢也
8月号	七つの星 文：竹内もと代 絵：藤本四郎	2月号	鶴の恩返し 文：岡信子 絵：田中秀幸
9月号	月の兎 文：中島和子 絵：関屋敏隆	3月号	シンドバッドの冒険 文：山本省三 絵：井江 栄

より良い絵本作りのため、企画内容などを変更する場合があります。(上記の内容は平成30年3月31日時点のものになります。)

◎花園文庫 A4判 24ページ 税込価格：1冊 650円 (団体納入価格もございます)